

選ばれた4成分で速く効く、長く効く!

水稲用一発処理除草剤

田植同時
(1キロ・フロアブル)・
直播水稲・
WCS用稲
OK!

デルタアタック®

1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

選べる3剤型が
ラインナップ!



さまざまな除草のニーズに、しっかりお応えします!

SU抵抗性雑草、
難防除雑草も防除したい!

田植同時処理で
省力除草がしたい!



一発処理で
しっかり効かせたい!

水稲へ安全な
除草剤を使いたい!

作用機作の異なる4つの成分が、高いパフォーマンスを発揮します!

ピラクロニル

オキサジクロメホン

イマズスルフロン

プロモブチド

高い効果が速く発現し、長期間持続します。
後発のノビエの発生も抑制します。
SU抵抗性雑草にも優れた効果を示します。
難防除多年生雑草の発生を抑制します。
水稲への安全性が高い薬剤です。

適用雑草の範囲及び使用方法

デルタアタック 1キロ粒剤 ■有効成分(一般名)ピラクロニル:2.0% オキサジクロメホン:0.4% イマズスルフロン:0.9% プロモブチド:9.0% ■人畜毒性:普通物* ■登録番号 第23697号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg/10a	田植同時散布機 で施用	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロモブチド剤 2回	ミスガヤツリ	3葉期まで
		移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで		原液温水散布 又は 無人ヘリコプター による散布		ただし、直播水稲は2葉期まで	
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで				ヘラオモダカ	2葉期まで
						ウリカワ	2葉期まで ただし、直播水稲は発生始期まで
						ヒルムシロ	発生期まで
						セリ	再生前～再生始期
						オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで
						アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前

デルタアタック フロアブル ■有効成分(一般名)ピラクロニル:3.7% オキサジクロメホン:0.56% イマズスルフロン:1.7% プロモブチド:16.3% ■人畜毒性:普通物* ■登録番号 第23695号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ セリ、エゾノサヤヌカグサ、オモダカ クログワイ、コウキヤガラ、シズイ	移植時	500ml/10a	田植同時散布機 で施用	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回	ミスガヤツリ	3葉期まで
		移植直後～ ノビエ2.5葉期ただし、 移植後30日まで		原液温水散布、 水口施用又は 無人航空機による滴下		ただし、直播水稲は2葉期まで	
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで		原液温水散布 又は 無人航空機 による滴下		ヘラオモダカ、ウリカワ エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
						ヒルムシロ	発生期まで
						セリ	再生前～再生始期
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで

デルタアタック ジャンボ ■有効成分(一般名)ピラクロニル:5.0% オキサジクロメホン:0.75% イマズスルフロン:2.25% プロモブチド:22.5% ■人畜毒性:普通物* ■登録番号 第23696号

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ セリ、オモダカ、クログワイ コウキヤガラ、シズイ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g) /10a	水田に小包装 (パック) のまま 投げ入れる	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回	ホタルイ ヘラオモダカ ウリカワ ミスガヤツリ	2葉期まで
		稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで					ヒルムシロ
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ウリカワ、ミスガヤツリ、セリ					セリ	再生前～再生始期
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

使用上の注意事項 (一部抜粋)

3製剤に共通する注意事項

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にブレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。
- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けは正しいに行ってください。また、未熟有機物を施用した場合は、特に正しいに行ってください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。
- 病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、

流入しないよう注意して使用してください。

- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。
- また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 密閉し、直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

1キロ粒剤の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 無人ヘリコプターによる散布で使用の場合は、飛散しないように特に注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

フロアブルの注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落

水、かけ流しはしないでください。

- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないように特に注意してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

ジャンボ剤の注意事項

- 散布に当たっては水の出入りを止め5～6cmの湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破棄することがないようにしてください。
- 藻や浮き草が繁殖している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、ぬれた手で触らないでください。

本資料の記載内容は2019年10月現在の登録内容に基づいています。

★使用前にはラベルをよく読んでください。★ラベルの記載以外には使用しないでください。★本剤は小児の手の届くところには置かないでください。★空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。